

令和7年度 管理運営業務点検報告書

対 象 施 設	荏田コミュニティハウス
対 象 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
指 定 管 理 者	公益社団法人横浜市民施設協会
実 施 日	令和7年12月10日
点 検 方 法	この業務点検は、別紙の業務点検結果シートの点検項目及び点検内容に基づき、指定管理者から提出された報告書類の内容審査及び実地でのヒアリングにより実施した。
講 評	当施設での経理事務、利用者への接遇(苦情・要望対応)等は適切に行われ、施設内も整理整頓がなされており、施設の管理運営は概ね適正に行われていると認められる。
指 摘 事 項	特になし
改 善 状 況	特になし
添 付 資 料	業務点検結果シート(別紙)

業務点検結果シート(令和7年度総括)

施設名 荏田コミュニティハウス

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	開館日数347日、入館者数28,283人
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	良好に稼働している。
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	19,368,000円
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	実施回数62回、参加人数1,465人
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	適正
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	計画通り履行されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	入口ドア戸車(4個)交換及び調整
	備品	備品(Ⅰ種)の購入・廃棄状況	なし
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	ご意見箱の設置と意見・要望の掲示(今年度は、図書の要望のみ▶返答を掲示)利用者アンケートの実施と結果の掲示
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	清潔さと整然さを保っている。
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	適性に作成・運用・備え付けがされている。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	個人情報保護研修実施・誓約書提出済
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	作成済
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	作成済
		消防計画の作成・提出状況	提出済
	保険	施設賠償責任保険への加入	加入済
	研修	職員等に対する研修の実施状況	接遇研修、個人情報保護研修、AED・消火器取扱研修、図書業務研修、避難訓練、プロジェクター取扱い研修、人権研修(認知症対応方法等) 等
	本市重要施策への実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	環境配慮への取組(ごみの分別、クールスポット・脱炭素取組宣言実施)、子育て支援の取組(親子の居場所づくり、おはなし会、親子向け&小学生向けイベント等の開催)、「健康横浜21」の取組(夜間のヨガ・太極拳・ボクササイズ、赤ちゃんリズム体操の自主事業開催)、読書活動推進の取組(スタンプカードの発行、親子向け&大人向けお話会の開催)障害者支援・人権尊重の取組(認知症対応研修の実施、地域の助け合い活動に参加)、修繕や物品調達等の市内中小企業への優先発注
	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	9/27 第1回委員会開催 図書の貸出数や利用者数も増えている、自治会の行事と何か一緒にできると良い、青少年指導員の行事の施設での継続の大切さ等のご意見等をいただいた。 3/7第2回委員会開催 団体利用でキャンセルが出た場合の扱い、来館者への工夫や接遇面に力を入れた方が良い、スタッフの努力への感謝等のご意見等をいただいた。
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	3/7第1回利用者会議開催 Wi-Fi利用や部屋の予約方法等に関するご質問等をいただいた。

(様式17)

随時	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	なし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	なし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	なし
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	なし
	特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	なし
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	交流ロビーにマットのスペースをつくり、ボールプールやおもちゃを置き、小さなお子様連れの親子の居場所としている。また、季節ごとの飾りやトイレに花を飾るなど、居心地の良い空間づくりを日頃より心がけている。 接遇面においては、研修やミーティングで情報共有をし、お客様に寄り添った対応ができるよう努力をしている。 図書に特に力を入れており、選書や掲示の工夫や、図書にPOPをつけたり、スタンプカードを発行したりし、貸出数や、個人利用者数アップに繋げている。(上半期の図書貸出数は、昨年度比163%) 広報については、施設のイベントや図書のお知らせを載せた「荏田コミュニティハウス通信」を昨年の5月号より毎月発行し、地域の自治会で回覧していただいている。(HPやXもアップしている。) 新しい施設のため認知度が低く、積極的に地域の会合や赤ちゃん教室、子育て相談等に出向き、自主事業等の広報活動をしている。また、近隣小学校にも協力いただき、チラシを持参し、配布をお願いしている。 地域の「包括レベル地域ケア会議」に参加し、地域で認知症帰宅困難者の捜索に協力する「荏田おかえりの輪」にも登録し、地域との連携を深めている。 自主事業の子育て支援企画として、昨年に続き、親子向けのワークショップ祭りや、早淵川のボランティア団体とコラボしたハロウィンのイベント等を開催。その他にも、親子向けや小学生向けの自主事業も数多く開催。 また地域の大勢の方が参加できる無料コンサートも上半期で4つ開催し、今後も3つを開催予定。 交流ロビーの2台のシーリングファンや、サーキュレーター、ブライトの活用で、冷暖房効果を高め、経費節減に繋げている。		特になし